

日本織維新聞

2006年(平成18年)2月27日 月曜日

日本織維新聞社©2006

第17461号(日刊)

東京本社 〒(03)5649-8711

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町1-3-10

e-mail:nissen@nissenmedia.com

大阪支社 〒(06)6252-7431

名古屋支社 〒(052)221-6045

京都支社 〒(075)341-9105

●土曜・日曜・祝日休刊 1ヶ月3,780円(税込)●

昭和18年5月10日第3種郵便物認可

日本織維新聞

2006年(平成18年)2月27日(月曜日)

(10)

Nissen

大豆生田 守の ファッショントーク



merrybook



世界に一つだけの写真集

今日はまさに現代のキーワードとして、頻繁にあらゆる媒体に登場する「ロハス」(LOHAS/Lifestyles Of Health And Sustainability)であるが一般的にロハスという言葉を耳にしたり、目に始めたのは、10年前ぐらい前からである。

「ロハス」の台頭は、21世紀の標準的なライフスタイルの提唱として個人と社会、人間と地球環境などすべての関係が健全である状態を維持続けることを普及させ運動の始まりである。また、ビジネス領域では、新たな商機の登場とともに、衣、食、住、

サービスそれぞれの分野でダイナミックなビジネス構築への期待が高まっている。当ファッショントークでもこのビジネスを一過性のアームとして終わらせることがなく、永遠的にするにはエコロジーおよび健康関連商品の開発はもとより、このビジネスに携わる個人団体がロハスの普及に努めることが不可欠となるであろう。

2月29日から14日まで、銀座モード・ホールでアートディレクター水谷孝次(Merry EXPO in TOKYO)が開催された。会場の壁面には何台ものプロジェクターから世界中の子供たちの満面の笑みと、直筆のメッセージが映し出されていた。これは昨年開催された愛知万博の愛地球広場の巨大ビジョンで流された。

現在の日本の環境では、日常的なことじめにもめないこと、とても子供のメッセージとは思えないものも数多くある。地球上に平均寿命が35歳という国もある。同じ10歳でも私たちの考える10歳とは人生の密度が違う。「笑

LOHASに笑顔のメッセージ



「Merry EXPO in TOKYO」(銀座ミキモトホール)



笑顔のメッセージ



愛知万博会場

頬って、マイナス部分があるほど美しいんです。厳しいところでも生きている子は『いま』の幸運をかみしめ、輝いていると思います

水谷氏の言葉である。

今回会場では、その感動のビデオを万博会場から廻り、世界中のダンボールを通して世界中に「Merry」(あわせ)の輪を広げてきた。子供たちの記録は、笑顔の万博(Merry EXPO)としてブリーフペーパー、ウェブサイトなどを通じて世界中に「Merry」(あわせ)の輪を広げてきた。子供たちの胸元のない笑顔、「どの家庭のモデルにもパンがある」と「家族が同じ部屋で暮らす」と「いつも友達と一緒に学校に行けること」「自由であること、愛をして太陽」「アイスクリームを食べたとき」「自分の肌の色を誇りに思っているとき」……など「しあわせ」に対するメッセージが会場を訪れる人々の心に強く印象付けられた。

現在の日本の環境では、日常的なことじめにもめすこと、とても子供のメッセージとは思えないものも数多くある。地球上に

平均寿命が35歳という国もある。

同じ10歳でも私たちの考える

10歳とは人生の密度が違う。「笑

いもの数多くある。地図上にいが、ロハス思想に通じるものであります。「健康とほ肉質的および精神的に健全でかつ社会的に良好な状態をいい、単に疾病または病弱ではない」ということではない」と良好な地球環境の維持を意識したライフスタイルの求めるものである。

現在、日本は世界の長寿国であり、健康寿命でも位にある。

地球環境保護でもエネルギーの消

費削減、エコ技術でも世界のトッ

プクラスである。米国で生まれ、

全米に広がったロハスには日本の

食文化や精神文化の享受もある。

世界で活躍する日本のトップデザ

イナーたちの作風に、これら日本

のアートプロジェクトとして世界

各地で舞い戻るよう企画されてい

る。また、この本の売り上げは南ア

フリカ共和国の子供たちの学校を

作るために役立たれるという。

水谷氏によるこのプロジェクト

は、ロハスを意識したものではな

いが、ロハス思想に通じるもので

あります。「健康とほ肉質的および精神的に健全でかつ社会的に良好な状態をいい、単に疾病または病弱ではない」ということではない」と良好な地球環境の維持を意識したライフスタイルの求めるものである。

日本ではロハス普及に対する環

境は十分整っている。今後、フア

ッション分野でのロハス関連ビジ

ネスは生産、使用、廃棄に配慮し

たプロジェクトの開発や心地良い売

り場環境サービスの提供とともに

、ファッショントーン業界がロハスに

向けていかなるメッセージを講じるかが

重要なである。

（蝶理MODA取締役ブラン

ンケティレクター）

※水谷氏の「MERRY EX

PO」は3月14日まで、ミキモト

名古屋店でも開催される。

10歳とは人生の密度が違う。「笑